

未来創生塾

オンラインで入塾式

21年度は45人が塾生に



野田玲治塾長

桐生市の産官学民で取り組む教育プログラム「未来創生塾」の2021年度入塾式が10日、オンラインの会議システムZoom(ズーム)を活用して行われた。2月に急逝した宝田恭之前塾長の意志を継ぎ、群馬大学大学院理工学府准教授の野田玲治さんが新塾長に就任。思いやりと感性を磨くユニークな取り組みに向け、8期生45人の親子が第一歩を踏み出した。

新塾長に野田群大大学院工学府准教授

本物の体験を通じて「五感を磨き、地球の未来を切り開く人間を育成しよう」と、2012年度に始まった桐生オリジナルのプロジェクト。「コミュニケーションと本物の体験を通して将来を担う人材を育てよう」。初代塾長の宝田さんの趣旨に賛同し、桐生市や桐生商工会議所、北関東産官学研究会、群馬大学をはじめ地元企業や市民団体などが協力して、自然・歴史文化・産業を肌で感じ取る教育プログラムを展開。親子に教育機会を提供している。

2021年度の入塾式は新型コロナウイルス禍に対応し、オンラインで開催。宝田前塾長に黙とうをささげた野田塾長は「自然や文化に直接触れ、感じ取り、互いに意見を交換し、感性を磨き、地域や人間への愛着をほぐくんではほしい。豊かな感性が未来の桐生をつくる」と、宝田前塾長の考えを踏まえ、塾生に呼び掛けた。



オンライン入塾式であいさつする荒木恵司桐生市長

本恵司桐生市長は「全国的にも注目される試み。市としても全面的な支援を続けたい」と、活動への期待を語っていた。

県内宿泊施設に泊まった県民に宿泊費5000円補助 「愛郷ぐんま」第2弾スタート

群馬県内の宿泊施設に泊まった県民を対象に宿泊費を補助する県事業「愛郷ぐんまプロジェクト」の第2弾がスタートした。桐生市相生町一丁目のマーケットシティ桐生内にあるワールドツーリストの林香社長は「今年1月に発令された緊急事態宣言から止まっていた、予約や問い合わせ